

高等教育活性化シリーズ 362 (通算 693 回)

2018 年 1 月 11 日 (木)

アーカイブズ事業の好サイクル——

自校教育・周年事業・同窓会・寄附の活力

～創設・試練・再興のパワー源／明日につなぐ“原動力”～

- ※ [東海大] 建学 75 周年記念事業／学園史資料センター／『七十五年史』編纂／新たなスタート
- ※ [立教学院] 展示館の特徴と活動／展示コンテンツ／立教各校の教育利用／自校史教育の実際
- ※ [熊本学園] 熊本・九州に根ざし 75 年余の人財づくり／同窓会「志文会」の結末／80 周年へ
- ※ 自校史編纂の今日的な意義／編纂組織・体制の編成と実務／通史と資料集／デジタルデータ化

● 講師陣 ●

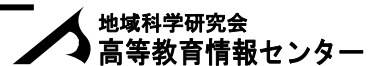
橋本 敏明氏 / (学) 東海大学 常務理事
 学園史資料センター センター長 出版部長

豊田 雅幸氏 / (学) 立教学院 展示館

目黒 純一氏 / (学) 熊本学園 理事長

武田 秀司氏 / (学) 拓殖大学 創立百年史編纂室 編集委員

2018 年 1 月 11 日 (木) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日時: 2018 年 1 月 11 日 (木) 10:00~16:40
 会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)
 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
 アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
 A1 出口より徒歩 3 分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

- 参加費: A. ご一名 (資料代込) 40,000 円 (税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 41,000 円 (送料、税込)
 C. 高等教育同人 (☆) 20,000 円 (税込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
 ☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

- みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
- 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
- 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
- 郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 362

自校教育・周年事業・同窓会・寄附の活力

年 月 日

(□に✓印を) 当日参加 メディア参加

勤務先 _____

支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
必要書類 請求書 見積書 領収書

所在地 〒 _____

(書類宛名) _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:10	<p>□ [東海大] 建学 75 周年記念事業の取り組みと新たなスタート ～ 時代の変化に先駆け、挑戦し続ける学園の総合戦略 ～ (学) 東海大学 橋本 敏明</p> <p>1. 建学 75 周年記念事業の概要 (1) 記念事業委員会組織について (2) 基本方針、基本計画、事業の施策と広報について (3) 記念誌編纂委員会の目的と作業スケジュール (4) 学園史資料センターの役割</p> <p>2. 『七十五年史』編纂に向けて (1) 編纂体制と編纂内容について (2) 刊行スケジュールと進捗状況 (3) 年史の過去・今回(現在)・未来をつなぐ (4) 学園の特色を再確認し、自校史教育へとつなげる試み</p> <p>3. 「学園マスタープラン」を策定する (1) 2042年、建学 100 周年に向けた羅針盤として (2) 学園マスタープランの内容 (3) 挑戦し続ける学園のメッセージ、「先駆けであること」 (4) 75 周年に、学園の歴史と原点を見つめ、進むべき道を再認識する</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:20 } 12:30	<p>□ [立教学院] 立教学院展示館の活動と自校史教育 ～ 展示を使った自校史教育の試み ～ (学) 立教学院 豊田 雅幸</p> <p>1. 立教学院展示館の特徴 (1) 組織概要 (2) 展示コンテンツの特徴 (3) 活動状況</p> <p>2. 立教各校による教育利用 (1) 利用状況 (2) 立教小学校の利用 (3) 立教池袋中学校・高等学校の利用 (4) 立教新座中学校・高等学校の利用 (5) 立教大学の利用</p> <p>3. 課題と展望—今後へ向けて</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:30 } 15:00	<p>□ [熊本学園] 熊本・九州に根ざし 75 年余の人財づくり ～ 結束力を誇る同窓会「志文会」/80 周年に向けて～ (学) 熊本学園 目黒 純一</p> <p style="text-align: center;">(講義項目は後日、KKJ HP にて掲載)</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:10 } 16:40	<p>□ 自校史編纂の今日的意義と留意点 ～組織体制・制作上のポイント～ (学) 拓殖大学 武田 秀司</p> <p>1. 自校史編纂の目的と意義 (1) 自校史編纂の意義 (2) 通史と資料集</p> <p>2. 編纂組織の編成 (1) 組織づくりと学内協力 (2) 外部専門家の活用 (3) 外部委託方式の在り方</p> <p>3. 制作上の留意点 (1) 印刷業者選定テーマと目次構成 (2) 執筆要領と仕様書 (3) 印刷業者選定</p> <p>4. その他 (1) 本とデジタルデータ化 (2) 出版諺「校正恐るべし」</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>